



新本っ子

学校通信 No. 4 4
令和5年12月発行
新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する】 令和5年12月11日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

地域の方の体験講話(5・6年生)



12月1日(金)の朝学習(授業開始前)で5・6年生は学校支援ボランティアの方から、厚生労働省主催の海外ボランティア活動に参加した際の現地での活動や生活の様子についてご講話いただきました。

講話では地図や写真資料を掲示しながら、世界の平和を願いながらボランティア活動を行ったこと、気候や自然環境の異なる海外生活で気をつけたこと、現地の人々の生活などを詳しく教えていただきました。児童は熱心に興味深く聞き入りながら、普段の生活では知ることのできないたくさんのお話を教えていただきました。

こうした地域の方々に支えられ、子どもたちも豊かな体験や興味深い学習ができています。子どもたちのために貴重な体験ができる場づくりをしてくださっている地域の方々に感謝申し上げます。

生命尊重(12月品格目標)

(前略) 人間の命も動物の命も全てかけがえのない大切なものです。では、なぜ大切なのでしょう。人間も動物も1回しか生きられません。そして、いつまでも生きられるのではなく、いつか必ず死を迎えます。命は一つしかありません。寿命という限りがあります。

また、命は自分だけの力で生み出したものではありません。自分の命は遠い昔の先祖からお父さん、お母さんに受け継がれてきて、今自分の命があります。命を大切にすることについて考えてみましょう。

自分の命を大切にするにはどうしたらよいでしょう。健康や安全に気をつけて生活することもその一つです。勉強や運動をしっかり頑張ることもそうです。

では、友だちの命を大切にするにはどうしたらよいでしょう。仲良くすることも命を大切にすることの一つです。思いやりの心を持って友だちに接することもそうです。またお互いに認め合い協力し合うこともそうですね。

12月の品格教育ポスターにも書かれているとおり、命を大切にすることは、自分とともに他の人も大切にすることであり、互いに支え合い、人間としてよりよく生きようと一生懸命生活することなのです。命を大切にすることについて考え、日々の生活の中で実践していきましょう。

